

地域高規格道路 松本系魚川連絡道路の概略ルート案「住民説明会」の概要報告

地域高規格道路「松本系魚川連絡道路」安曇野地域の概略ルート案の住民説明会を開催しました。その概要について、取りまとめましたので報告します。

住民説明会では、県から提示させていただいたBルートについて、さまざまなご意見をいただきました。特に、地域の住環境の保全に関していっそうの配慮を求めめるご意見や、その他のルートに関するご提案をいただきました。

今後、いただいたご意見を踏まえ、さらに具体的な調査・検討を進めていきたいと考えています。

1 説明会の開催概要

■期 間 7月26日～9月8日 計11回

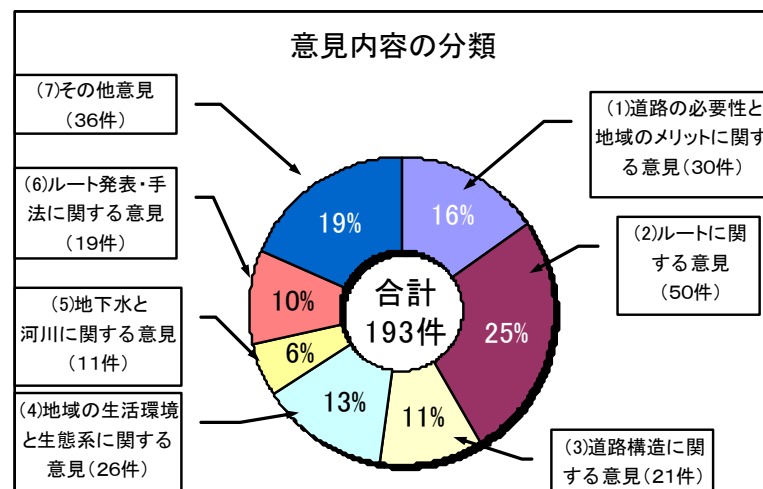
■参加人数 延べ420人

対象地区	開催日	場 所	参加者数
豊科光区	7月26日(火) 19:00～20:30	光生活改善センター	39
明科地域	7月28日(木) 19:00～21:00	明科公民館	81
明科地域	8月5日(木) 19:00～20:30	明科公民館	70
安曇野市全域	8月8日(金) 19:00～20:30	県安曇野庁舎	9
穂高狐島区	8月28日(日) 19:00～19:30	穂高狐島公民館	36
豊科光区	8月29日(月) 19:00～20:30	光生活改善センター	24
明科光区	8月31日(水) 19:00～20:30	北村集会所	32
明科宮中区	9月1日(木) 19:00～20:30	中耕地公民館	29
明科町区	9月5日(月) 19:00～20:30	町公民館	34
明科下押野区	9月6日(火) 19:00～20:30	農業集会センター	56
明科上押野区	9月8日(木) 19:00～20:30	営農センター	10
計			420

説明会では約 190 件のご意見をいただきました。

いただいたご意見の内容としましては、道路の必要性と地域のメリットに関する意見が16%、ルートに関する意見が25%で全体の半数近くを占めています。また、道路構造に関する意見が11%、地域の生活環境に関する意見が13%となっています。

なお、ルートの公表方法及び手続きに関しても貴重なご意見をいただきました。



2 説明会での主な意見

説明会でのご意見につきまして、具体的な事例を以下にまとめて整理しました。

(1) 道路の必要性と地域のメリットに関する意見

- 道路の必要性や道路の構造を具体的に説明してほしい。
- 交通需要を考えた時この道路は必要ない。特に明科地域にはメリットがない。
- 交差点を立体化する場所や安曇野市の道路交通網が今後どうなるのかを含めて説明してほしい。
- 必要性については変化してきていると思うが、この道路が計画された後に必要性を見直すことはあったか。
- 松本系魚川連絡道路を否定するわけではないが、なぜ今必要なのか説明して欲しい。
- 新設インターチェンジから出入りできるように、光地区にメリットがあるような道路を検討のこと。
- 渋滞時期が限られている中、新設道路を造るのは疑問がある。既存道路をできる限り使う豊科インター案を採用してほしい。
- この道路は地元は何のメリットがあるのか。道路ができた場合、安曇野市の観光施設が敬遠されるのでは。
- 土地の所有者には迷惑施設で、地域住民にも景観、大気、騒音、いろんな部分でメリットがあるかわからない。位置付けを元から見直す必要があるのでは。
- 小谷や大町とか、大北地区については必要性があるかもしれないが、少なくとも安曇野地域については、必要性はほとんどない。

(2) ルートに関する意見

- 圃場への影響が少ない、犀川の右岸堤防道路を利用すべき。
- 現状の交通需要等から考えても既存の豊科インターチェンジを使うルートがよい。
- 下押野地区や圃場の分断がありBルートで進めるのは無理がある。地域のコンセンサスを得て進めること。
- Bルートは明科の住民にとって想定外。Aルートで頑張ることはできないか。
- 大北地域を考えると必要性は分かるが、新設インターチェンジをつくるのであれば、犀川をもっとはやく西側に渡ればよい。
- Bルートは撤回し、優良農地を潰さずに住民の意見を聞いた上でルートを検討してほしい。
- 100年後を考えて多少高くなってでも優良農地を潰さないAルートにするべき。
- どうしても道路を造る必要があるれば、犀川の底をトンネルで造ったらどうか。
- 豊科インターチェンジがありながら、なぜそれを使わずに新しく光地区にインターを設けるのか。豊科インターチェンジをもう少し拡大するなり構造を変えればよいのでは。

(3) 道路構造に関する意見

- 今の現道を拡幅するのではなく、新たに作るということか。
- 新設ICはどのようなものか。光地区の住民はICからの出入りが可能か
- この道路は一般道路とは違うのか、また、料金は取られるのか。
- この道路は高架道路か、それとも盛土構造による道路か。
- 概略設計が終わっているので道路規格、幅員等は決まっていると思う。公表すべきではないか。

(4) 地域の生活環境と生態系に関する意見

- ・白鳥に対して配慮しているが、Bルートは人間を無視している。地域の意見を考慮した上で検討のこと。
- ・白鳥には目がある。人間とどちらが大事か考えてほしい。
- ・地権者が代替地を要望した場合、市としてはその代替地の斡旋、仲介を考えているか。
- ・騒音、振動、排ガス等が、ハクチョウをはじめとした生態系にどのような影響を与えるのか、調べて報告してほしい。
- ・地域住民に与える影響という一番大事な項目が抜けている。住民の存在を無視して勝手にルートを提示している印象がある。
- ・地区の真ん中を結構高い道路が走るということは、景観的にも悪くなると思う。

(5) 地下水と河川に関する意見

- ・Aルートに橋をつくってもワサビ田湧水に影響しないので、Aルートで考えてもらいたい。
- ・Bルートで決着よりもAルートで地下水、河川に影響のない方法を考えてほしい。
- ・Aルートにして犀川に横工を入れて河床を安定させれば、ワサビ田の湧水枯渇は防げる。

(6) ルート発表・手法に関する意見

- ・ルート発表の方法が住民を無視している。事前に住民意見を聞く姿勢があるべき。
- ・Bルートが安価だから有力案だとマスコミに流すのはどういうことか。絶対反対。
- ・地区の説明会前に耕作者や水利組合にまず話しをするべき。事業の進め方の順序がおかしい。
- ・A、Bルートの2者択一ではなく、一旦白紙に戻し地元の提案を受けての検討もしてほしい。
- ・2年前のAルートに関しても地域に全く説明がなく、今回BルートがAルートよりもよいから説明しますとの考え方が間違っている。